

北新建設株式会社



# 虹の街通信

2012年秋 [No. 67]

松戸市西馬橋5-33  
TEL:047-344-1714  
FAX:047-345-0774  
E-mail:hokusin@song.ocn.ne.jp  
URL:http://hokusin-k.com/



< 色鮮やかな紅葉 >

新築のしごと

雨楽な家  
UFAC MODERN

< Yさんの家 > (茨城県取手市)

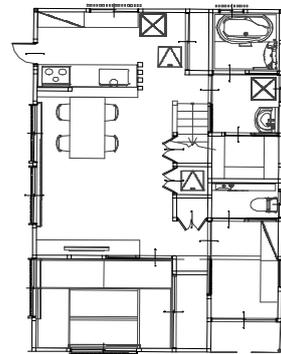
雨楽な家の新築工事です。  
11月18日に地鎮祭を行いました。  
上棟に向け、工事進行中です。



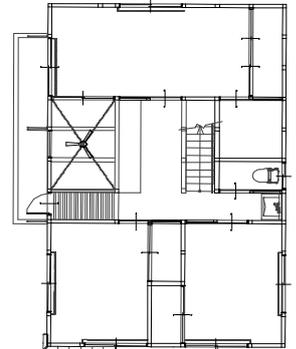
< 外観イメージ >



当社事務所の向かいのお宅の建て替え工事です。  
5月に上棟、8月竣工しました。

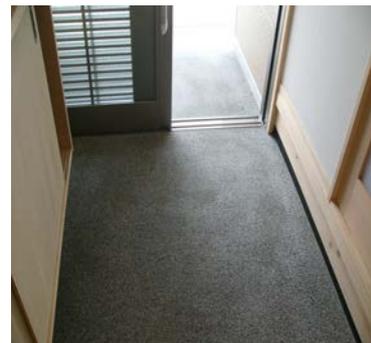


< 1 F >



< 2 F >

無垢の木の感触がとても心地良いんです。また、吹き抜けのおかげで風の流れる感じることができ、部屋が明るいことが何よりです。家中の至るところに造り付けの収納家具があるので広々としています。玄関に昔ながらの土間があるのもお気に入りのひとつです。(奥様より)



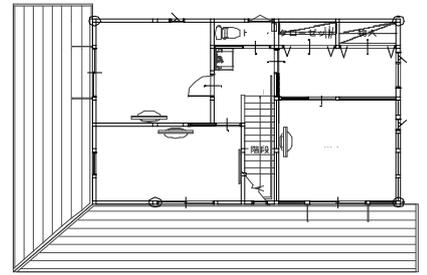
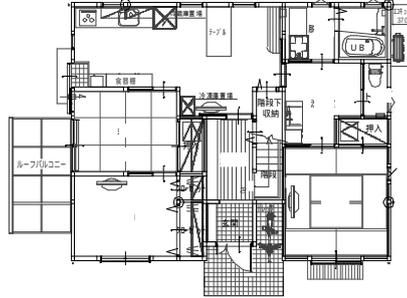
工事中は途中経過を写真付きで報告をしていただき、安心できました。自然素材でとても健康的な住まいになりました。壁の色など迷いましたが大変満足しています。



協力業者さんのお宅です。

7月に上棟、10月に竣工しました。

仕事柄、屋根や外壁はフッ素塗装した断熱性のあるものを使用し、独自の通気工法を採用。風水をもとにしたこだわりの住まいが完成しました。



< 1 F >

< 2 F >

プライベートスペースは家族の生活スタイルにあわせて和風だったり、洋風だったり様々です。家のところどころに大工さん手作りの家具があります。リビングのパソコンデスクとラック、脱衣室の収納棚、さらに階段下の収納も充実しています。私のお気に入りはサンルームです。お天気に関係なく洗濯できるのと、明るくて暖かいんです。(奥様より)



住み始めてからまだ間もないのですが、とても暖かい家だと感じました。この家の基本的な設計は息子が考えてくれました。家族の要望が盛り込まれているのでとても満足しています。



# 『エコってなんだろう』 その13



「ドラえもん も脱原発!？」という新聞記事を読みました。猫型ロボットのドラえもんは「原子ろ(炉)」を持ち、好物のどら焼きなどを食べ、原子炉によって原子エネルギーに変化させて動く仕組みだそうです。これを東日本大震災の被害状況を踏まえて直したといえます。「原子力」という表現はすべて削除され、「原子ろ」から「何を食べてもエネルギーになる」という表記に修正されたそうです。

1953年12月8日の国連総会でのアイゼンハワー大統領による演説“Atoms for Peace”から始まる「原子力の平和利用」。原子力は夢のエネルギーと賞賛され、子供の頃から本当にそう信じていました。調べてみると・・・手塚治虫の「鉄腕アトム」も石ノ森章太郎の「サイボーグ009」も「キカイダー」も「ジャイアントロボ」も、エネルギー源は原子融合システムという設定でした。何しろ夢のエネルギーでしたから・・・しかし、3.11以降、私たちは解ってしまったのではないのでしょうか。それがウソだったということ。原発とは、ただの湯沸かし器で原子炉により核融合を制御される熱源であると。そして核廃棄物が発生し、処理はできないことを。それゆえ、ドラえもんのエネルギー源は原子炉から修正されたのでしょう。

アーサー・ピナードさんは言います。「原子炉はジリジリ原爆で、実はプルトニウムをつくる装置だよ。」「原爆で電気をつくるバカはいないけれど、原爆をつくるバカがいるだけだよ。」と。

原発はエネルギー政策ではなく、一部の推進する人たちと米国の壮大な利権構造の維持に過ぎないんじゃないか。そう考えると合点がいきます。

「脱原発」や「卒原発」と似たような文言でありながら妙に個性を主張している党の政策。「今こそ保守の集結を！」と言った人がいます。保守?それは矛盾ではないのでしょうか。「保守」とは、古くからの習慣や制度、考えなどを尊重し急激な改革に反対することです。今、攻勢に出ている方たちの主張は、対米従属が必須で憲法を変えることだそう。本当に守りたいのは、既得権の保守と拡張のように読めるのです。本当に日本の文化、習慣に根ざした「保守」なら歓迎したい。

国民の60%超えが原発は無い方が良いというなか、現実に向き合わずひたすら経済性だけを優先する新自由主義は、原発の安全性が確認されれば再稼働すべきだといえます。分からないかな・・・原発は危険なんだから。

たくさんの政党が林立しました。みんな自民党の派閥争いのように見えてきます。自民党・安倍派、野田派、石原派、そして第三極という小沢派かも。最低賃金の廃止とか移民の受入推奨とか、拳句には「みなさんには貧しくなる自由がありません。」と発言した人までいます。すべては、投票によって決まります。第三極とは、無党派層ではと思います。流行に流されず、多数派に身を置きたいという指向性で動くのではなく、自分で考えること。どうすれば?といえば「未来を見つめるしかない」のでしょう。

先日、園子温さんが原作・監督した映画「希望の国」を観ました。フクシマの後にもう一度起こった原発事故を描いています。ナガシマ県という架空の街で理不尽に日常を破壊されていく人々を描いているフィクションです。いま・・・真実が無視され、現実から逃避するかのような風潮、ドキュメントですら真実に向き合うことを避けます。園さんは言います。「フィクションの中でこそ描ける真実がある」と。

「原発をやめられない社会」をやめて、「原発をやめられる社会」にする。宮代真司さんの推奨する方向性です。そして、これらを住民投票の実現によって積み上げていこうとしています。

いま、夢にみるのは「原発をやめられる社会」です。そして、この先の未来を具現化していく

キーワードは・・・「近自然工法」という考え方だと信じています。(M)

## 【編集後記】

今年も残すところあとわずかとなりました。くれぐれも風邪には気をつけてください。前号でガイナをご紹介しましたが、寒さ対策として床暖房はいかがでしょうか。当社事務所でも設置しておりますが、足を暖めることでこんなにも全身が温かく心地よいとは思いませんでした。空気は汚れませんし、乾燥も防げます。私も自宅では床暖房のみで過ごしていますので是非おすすめします。(K)